

令和6年度高等学校等生徒指導連絡協議会 報告

5月22日（水）、新潟県立教育センターを会場に開催しました。

1 目的

高等学校等の生徒指導上の諸課題について幅広い知識と態度および技能を身につけ、その資質や指導力の向上を図る。

2 内容

- 講義「これからの生徒指導に必要な視点」 連絡「SNSトラブルの防止について」
- 報告「令和5年度教育相談基幹研修から学んだこと」
- 講義「少年非行の現状と少年鑑別所の役割」 統括専門官 木下寛法 様
- 情報共有・事例検討（グループワーク）

「令和5年度教育相談基幹研修」の報告では、不登校児童生徒への支援と教育相談について、生徒指導提要の改訂版に示されている、「プロアクティブ」「リアクティブ」の2つの視点から生徒とどのように関わっていくべきか、基幹研修での花輪敏男様（FR教育臨床研究所所長）の講義についてグループワークを交えながら説明が行なわれました。不登校児童生徒のアンビバレンツな心理状態（相反する思いを同時に持ち葛藤している）を理解し、温かな関係に支えられ、悩みや夢を語り合うという関係そのものが子どもにとっての力となることが伝えられました。

講義「少年非行の現状と少年鑑別所の役割」では、少年非行の経緯や背景、最近の特徴や非行にはしる少年の心理的な特徴などについて詳しく説明を頂きました。

- ・ 最近の非行少年の特徴、心理面の特徴、非行少年の生きづらさ など
- ・ 改正少年法の主なポイント
- ・ 少年鑑別所の役割 ・ 少年審判と処遇の流れ
- ・ 少年鑑別所の業務「鑑別」「観護処遇」「地域援助」について
- ・ 健全な育成のための支援「学習支援」「教養の付与」「情操のかん養」 など
- ・ 事例 ・ グッド・ライブズ・モデルの紹介

また、グループに分かれ、令和4年12月、生徒指導提要改訂後の自校の取組や関係機関と連携した事案を共有し、架空の事案について参加者による事例検討を行いました。



新潟法務少年支援センター 木下 様